

アクセシビリティの観点からみた映画コンテンツの視聴環境

Movie contents viewing environment from the viewpoint of accessibility

植村八潮[†] 野口武悟[†] 小松幸男[†] 益子大輝[†] 堀田愛美[†]

Yashio UEMURA[†] Takenori NOGUCHI[†] Yukio KOMATSU[†] Daiki MASHIKO[†] Manami HOTTA[†]

[†]専修大学 文学部

[†]School of Literature, Senshu University

要旨:

本研究では、視覚障害者および聴覚障害者の映画コンテンツ視聴環境に関するアクセシビリティ技術の概況をまとめた。映画館では、バリアフリー化のために、専用の設備を備えた映画館や、UDCast などを用いた対応が進められている。市販やレンタルの映像ソフトでは、視覚障害者および聴覚障害者にとって利用しやすい方法の作品が増加している。一方で、現在主流になりつつある動画配信サービスでは、情報収集や検索の段階で、操作が難しいサービスも存在している。また、見逃し番組配信アプリでは、作成済みの字幕、音声ガイドデータが活用されていない現状があった。

Abstract:

In this study, we summarized the overview of accessibility technology for movie content viewing environment for the visually impaired and the deaf. In movie theaters, the UDCast system has been introduced to make it barrier-free. In video software, works that are easy to use for visually impaired and deaf people are increasing. On the other hand, in the video distribution service, there are services that are difficult for the visually impaired to operate. Moreover, in the program delivery application, there were cases where subtitles and audio guide data were not utilized.

1. はじめに

1.1 視覚障害者および聴覚障害者の概況

厚生労働省では、アクセシビリティという言葉を「年齢や身体障害の有無に関係なく、誰もが必要とする情報に簡単にたどり着け、利用できること」と定義している。アクセシビリティの確保は、すべての人々が平等に情報にアクセスできる機会を手に入れることであり、特に高度情報社会となった現在、誰もが文化的な生活を送る上で非常に重要であると考えられる。

厚生労働省発表の『平成 28 年生活のしづらさなどに関する調査（全国在宅障害児・者等実態調査）』によると、現在、身体障害者手帳を有している総数は 428 万人のうち、視覚障害者は約 31.2 万人、聴覚・言語障害は約 34.1 万人とされる。また身体障害者総数の推移は一貫して増加傾向にある。高齢人口の増加とそれに伴う障害者手帳を持たない潜在的な視覚障

害者、聴覚障害者の増加も考慮すると今後さらにアクセシビリティの重要性が高まると考える。

近年では視覚障害者、聴覚障害者の情報保障に関連する法律として「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（障害者差別解消法）が 2013 年に制定され、2016 年 4 月から施行された。施行にあたり、国は障害者に対する「不当な差別的取扱い」を禁止するとともに、「合理的配慮の提供」を行政機関等には義務づけ、民間事業者には努力義務を課した。

1.2 目的と方法

筆者らは、これまで主に視覚障害者の情報アクセシビリティに関して研究を行ってきた。本稿では、これまでの研究の成果をふまえて、特に視覚障害者および聴覚障害者の映画コンテンツ視聴環境に関するアクセシビリティ技術の概況をまとめた。

視覚障害者および聴覚障害者が映画コンテンツを視聴する環境として、(1) 映画館での視聴、(2) 自宅などでDVD・BD等の映像ソフトを用いた視聴、(3) モバイルを含む動画配信サービス・見逃し番組配信サービスを用いた視聴の3つの環境をとりあげる。それぞれの視聴環境のなかで視覚障害者および聴覚障害者が映画コンテンツにアクセスする手段についてまとめる。

なお、本稿では、別途記載がない限り、「主に視覚障害者向けに映像作品が伝える情報を解説するナレーション」を「音声ガイド」、「主に聴覚障害者向けに映像作品が伝える情報を文字で表示したもの」を「字幕」とそれぞれ表記する。

2. 映画館での視聴環境

映画館で視覚障害者および聴覚障害者が映画コンテンツを鑑賞するための手段として、(1) UDCastを用いた音声ガイド・字幕の利用、(2) 常設バリアフリー映画館での音声ガイド・字幕利用がある。

2.1 UDCastを用いた音声ガイド・字幕の利用

UDCastは、Palabra株式会社が運営するサービスである。映画コンテンツや放送番組、Web動画、展示施設やイベント会場などのコンテンツを鑑賞する際に、音声ガイド・字幕をスマートフォンやタブレットPCなどのセカンドスクリーンに表示させることができる。映画進行との同期には、人間の耳には聞こえない「音声電子透かし」と映画のマスター音声を解析する「フィンガープリント」を利用し、ネット環境がなくても音声ガイドと字幕の同期を行うことができる。基本的にスマートフォンがあれば音声ガイド・字幕ともに利用できるが、付属機器としてメガネ型端末によって視野に字幕を表示できる機器も販売、貸し出しされている。2019年2月時点で音声ガイド対応が179作品、字幕対応が66作品である。

関連する調査として経済産業省が発表している「平成27年度コンテンツ産業強化対策支援事業映画上映に関するバリアフリー対応に向けた障害者の視聴環境の在り方に関する調査事業」がある。同調査では、UDCastを用いた映画鑑賞について、視覚障害者で「使いやすかった」「まあまあ使いやすかった」との回答があわせて98.2%、聴覚障害者のメガネ型端末の使い心地で「使いやすかった」「まあまあ使いやすかった」との回答があわせて62.0%となった。

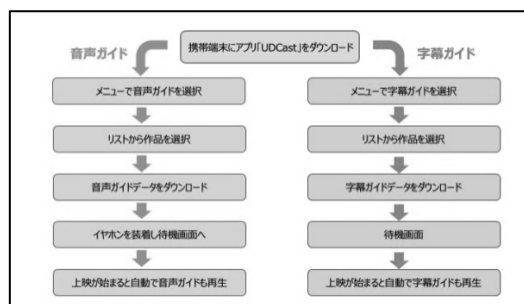


図1 UDCast利用の流れ

一方で、「現在、視覚障害者や聴覚障害者において『積極的に映画館に出かけて映画鑑賞をしたい』と思われる方は、障害者全体から見ると決して多くはないかもしれない。映画館で映画を鑑賞する意欲はあっても、鑑賞を希望する上映作品に『音声ガイド』や『日本語字幕ガイド』が付与されていなかったり、劇場のホームページが音声操作に対応していないかったりという環境要因が原因となっているものと考えられる」との指摘もあり、鑑賞にいたるまでの映画館側の情報周知に課題があると考えられる。

2.2 常設バリアフリー映画館での音声ガイド・字幕の利用

常設バリアフリー映画館に関する取り組みの事例としては、バリアフリー映画鑑賞推進団体シティ・ライツが運営する「CINEMA Chupki TABATA (シネマ・チュプキ・タバタ)」での取り組みが挙げられる。「CINEMA Chupki TABATA」は、常設バリアフリー映画館として、上映作品すべてに字幕を付与した上で、各座席に搭載されたイヤホンジャックからイヤホンを通して音声ガイドを聴くことができる。

映画館でのUDCastを軸としたサービスと比較して特筆すべき点は、電子機器の操作や事前ダウンロードなどの準備が必要のない点である。特別な機器を必要としないバリアフリー映画館は、スマートフォンなどのICT機器を使いこなすことができない高齢者や、視覚障害者および障害者の映画鑑賞をサポートする一つのアプローチとして重要である。

3. 自宅などでのDVD・BD等の映像ソフトを用いた視聴環境

ここでは、映像ソフトの視聴方法として、(1) 音声ガイド・字幕付きDVD・BDと、(2) シネマDAISYを挙げる。

3.1 音声ガイド・字幕付き DVD・BD

現在発売されている音声ガイド・字幕付き DVD・BDについては、NPO法人メディア・アクセス・サポートセンターが「バリアフリーDVD&Blu-ray 情報」をまとめている（なお、「UDCast 対応作品は殆どビデオ商品に収録されるようになりましたので、このデータベースの更新は2018年7月2日をもって終了しています」として現在は更新を停止している）。DVDでは音声ガイド・字幕対応が318作品、BDでは142作品となっている。

筆者らが音声ガイド付き DVD について行った過去の調査「DVDのアクセシビリティ—操作インターフェースの問題点を中心に」（2018年）では、2014年から2017年に発売された76作品を調査対象として収集し、音声ガイド付き DVD の再生手順や動作状況を確認した。その結果、再生時の動作状況の違いから、4つのパターンに類型化できることが分かった。

同調査において最も作品数が多く、アクセシブルな特徴を持つパターンは、図2に示す「音声ガイド標準再生」とした音声ガイド付き DVD である。

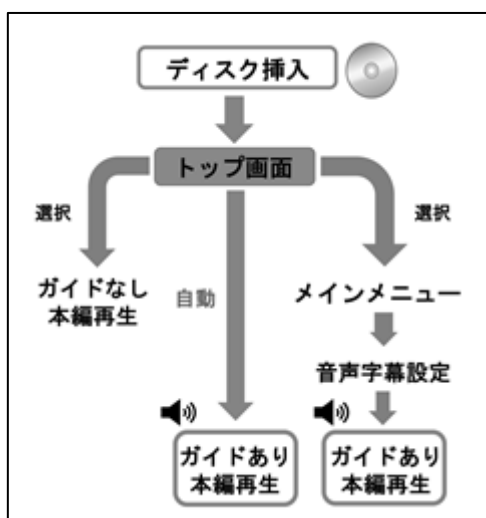


図2 音声ガイド標準再生操作イメージ

音声ガイド標準再生のDVDはディスク挿入後、もしくは新作映画広告の再生後、当該DVDに音声ガイドが収録されていることを示す「トップ画面」がナレーション付きで表示される。トップ画面中で何の操作も行わず数秒間待機していると、音声ガイド付きで本編が自動再生される。この結果、カーソル操作が困難な視覚障害者でも音声ガイドによる再生が容易であり、アクセシブルといえよう。通常再生したい場合はトップ画面中で「メインメニュー」を選択し、メインメニ

ュー内の「本編再生」を選択するか、トップ画面中の「ガイドなし本編」の項目を選択することで再生ができる。また、操作を誤った場合はディスクを再挿入することで再度トップ画面を表示させる事ができる。

また、上記の調査と同時に行った映画会社のバリアフリー担当者へのヒアリング調査では、バリアフリー機能を担保することが難しくなっている現状が明らかになるとともに、その要因が把握できた。

1点目の要因は、パッケージ会社内において音声ガイドや聴覚障害者用日本語字幕に関する情報共有と制作に関するガイドラインあるいは制度が明確化されていない点である。映画の権利を持ち合い利益を配分する委員会方式ではバリアフリー仕様のDVDを制作する際、製作委員会に出資し販売権を得たパッケージ会社がDVD仕様に関する決定権の一切を持ち、音声ガイド、字幕の有無を決めることができる。しかし、決められた仕様や基準などが存在せず、過去作品を参考にしながら作品ごとに判断され制作される例が多いという。

2点目の要因は、パッケージソフトが売れない時代になる中で、制作費用が割高となるバリアフリー仕様のDVD制作の優先順位が下にならざるを得ないことである。音声ガイド付きDVDについて一般の理解が進んでいないこともあり、健常者の視聴者から音声ガイド付きDVDのトップ画面が邪魔であるとの声がかかることもあるという。このような現状の中では音声ガイド、字幕付きDVD制作には慎重にならざるを得ない。

本稿の執筆にあたって、今回、2019年6月発売分までの音声ガイド付きDVD追加調査を行った。その結果、上記の「音声ガイド標準再生」の作品数は、2014年から2017年に76作品中47作品（61.8%）であったのに対して、81作品中69作品

（85.2%）と、さらに高い比率となった。音声ガイド付きDVDのなかでは「音声ガイド標準再生」がほぼ標準となっている現状が伺える。なお、今回行った追加調査では「トップ画面」で待機していると音声ガイドなしで本編再生がなされ、音声ガイド付きで本編を視聴する際は別途項目を選択しなければならない作品も「音声ガイド標準再生」として集計している。数は10作程度と少ないが、前述したような一般ユーザーの声に配慮してか、視覚障害者に音声ガイドの存在を周知しつつも一般ユーザーに別途操作の負担をかけないように仕様の変更が行われたことが伺える。

3.2 シネマ DAISY

シネマ DAISY (デイジー) は、CDやSDカードに映画コンテンツの主音声と、登場人物の動きや背景などの視覚情報を説明した音声ガイドを付与して貸し出すサービスである。これによって、視覚障害者でも、映画を楽しむことができる。製作は社会福祉法人日本点字図書館や、全国の視覚障害者情報提供施設(点字図書館)で行われており、2017年6月時点で約300タイトルがある。

具体的な利用方法としては、貸出しによる利用とダウンロードによる利用がある。貸出しについては点字図書館や公共図書館などで行なっている。ダウンロードについては、インターネット上の「サビエ図書館」からダウンロードできる。なお、DAISY形式で音声録音されているため、一般のプレイヤー等では視聴できず、専用機が必要になる。

4. モバイルを含む動画配信サービスを用いた視聴環境

4.1 動画配信サービスの市場規模と視覚障害者の ICT 機器の利用率

動画配信サービスは、近年事業規模の拡大が著しい。映像ソフト協会発表の『映像ソフト市場規模及びビューザー動向調査2017』によると、動画配信サービスの市場規模は年々増加傾向であり、2017年の推計値は1510億円(2016年比120%)である。対する映像ソフト(DVD・BDのレンタル版とセル版の合計)の市場規模は3703億円(同92.5%)と減少傾向になっている。

こうした動画配信サービスを視覚障害者および聴覚障害者が利用する際の主要な手段としてスマートフォン向けアプリが考えられる。視覚障害者を対象とした渡辺哲也による調査(2017年)によると、スマートフォン利用率は全盲の人で52.1%(n=215人中112人)、ロービジョンの人で55.6%(n=90人中50人)と5割を超えている。こうした中で、スマートフォンから映画を鑑賞することができる動画配信サービスにアクセシビリティ機能が付与されていけば、視覚障害者および聴覚障害者が映画コンテンツを利用できる機会も広がると考えられる。

4.2 アクセシビリティ機能を提供する動画配信サービス・見逃し番組配信サービス

今後の動画配信サービスの研究のための予備的調査として、動画配信サービスの提供事業者への問い合わせと公式サイト等で音声ガイド・字幕が付与された作品の配信状況を確認した。

表1に確認を行った動画配信サービス・見逃し番組配信サービス43社を示す。そのうち、2019年2月25日現在で音声ガイドと字幕を提供しているサービス事業者がNetflix、iTunes Storeの2社、字幕のみ提供しているサービスがHulu、バンダイチャンネル、NHK オンデマンドの3社だった。

表1 動画配信サービス等43社

Hulu	アクビラ	Netflix	ニコニコチャンネル
Paravi	Amazonビデオ	FOD	AbemaTV
Amazon プライム・ビデオ	GYAO!ストア	J:COM オンデマンド	DAZN
テレビ東京ビジネスオンデマンド	iTunes Store (映画)	ひかりTVビデオ	スカパー!オンデマンド
NHK オンデマンド	ビデオパス	ビデオマーケット	JSPORTS オンデマンド
WOWOW メンバーズオンデマンド	TSUTAYA TV	ゲオTV	パ・リーグTV
LIVE 動画/LIVE 配信サービス	DMM.com	バンダイチャンネル	dTV
dアニメストア	PlayStation Video	日テレオンデマンド	LINE LIVE
Google Play 映画 & テレビ	東映アニメオンデマンド	テレ朝動画	SHOWROOM
アニメ放題	TVer	RakutenTV (楽天TV)	YouTube Live
U-NEXT	GYAO!	ニコニコ生放送	

以下、スマートフォンでの利用を前提として、5社のサービスの操作方法を簡易的に調べた。なお、字幕については、本稿では主音声日本語の作品で日本語字幕が付与されているものについて調べている。

4.3 Netflix

Netflixを利用する際の操作手順について図2に示した。アプリを起動するとトップ画面が表示される(図中①)。下にスクロールすることで「Netflixオリジナル作品」や「国内映画」といったジャンルが表示されるが、ここではアクセシビリティ機能が付与された作品を判別することはできない。

画面上部の「すべてのジャンル」と表示されているタブを選択し、最下部にスクロールを行うことで「副音声・音声ガ

イド」を選択し、作品一覧画面に移行することができる（図中②）。しかしながらこの画面や各作品画面では、音声ガイドが付与されている作品と字幕が付与されている作品の判別は再生して確認するまでわからない。

検索画面では、「副音声」、「字幕」、「日本語字幕」などのワードで検索をかけると該当する作品が表示される（図中③）。しかし、「副音声」で検索した場合に音声ガイドがない作品が上位にヒットする例が見られた。検索後、下にスクロールして検索候補の「副音声 - 日本語」を選択することで音声ガイド付きの作品がヒットした（図中④）。「字幕」や「日本語字幕」での検索では間違った作品が表示されることはなかったが、表示数が少なく、網羅的な表示ではなかった。



図3 Netflix利用の流れ

4.4 iTunesStore

iTunesStoreを利用する際の操作手順を図4に示した。iTunesStoreでは、音声ガイドを「AD」、聴覚障害者向けの日本語字幕を「SDH」として各作品画面で表示している（図中①、②）。CC(クローズドキャプション)のコンテンツは、会話や、会話以外の描写も含めて画面に表示をするのに対し、ADのコンテンツは、画面上で何が進行しているのかを音声で解説をする。SDHは、耳に不自由な方向けの字幕コンテンツで、CCに似ているが、CCでは表されない場面でもSDHなら対応していることがある。



図4 iTunes store利用の流れ

4.5 Hulu

Huluを利用する際の操作手順を図5に示した。Huluではトップ画面を下にスクロールすることで字幕作品のジャンルを見ることができる（図中①）。ジャンル画面に移行するとそのまま、字幕ガイドの使い方についての説明画面にアクセスすることができる（図中②、③）。



図5 Hulu利用の流れ

4.6 バンダイチャンネル

バンダイチャンネルを利用する際の操作手順を図6に示した。バンダイチャンネルのトップ画面（図中①）とジャンル画面では字幕に関する案内は見られなかった。検索画面で「字幕」のワードを検索すると、図中②に示したように、タイトルに「日本語字幕入り」、「字幕版」などと表記の入ったエピソード5つしかヒットしなかった。字幕版の作品を楽しむためには、公式サイトの子幕付き作品の一覧を確認する必要がある（図中③）。



図6 バンダイチャンネル利用の流れ



図8 NHK オンデマンド (PC版) 利用画面

4.7 NHK オンデマンド

NHK オンデマンドを利用する際の操作手順を図7、図8に示した。

NHK オンデマンドは他サービスにもコンテンツを提供しているが、本稿ではあくまでNHK オンデマンド公式アプリ、公式WEBサイトを対象とした。NHK オンデマンドのアプリのトップ画面は図7中①のようにになっている。

このトップ画面およびジャンル選択画面でも字幕対応作品は不明だった。検索では「字幕」、「日本語 字幕」、「字幕ガイド」等のワードで検索を行ったがいずれも対応作品はヒットしなかった。再生画面ではCC (クローズドキャプション) の選択ができる項目があったが、アプリ上では字幕は反映されなかった (図7中②、③)。PCで公式サイトを確認すると、検索画面から字幕の検索ができ、再生画面でもCC字幕の再生が確認できた (図8)。



図7 NHK オンデマンド (スマートフォンアプリ) 利用の流れ

5. まとめ

視覚障害者および聴覚障害者の映画コンテンツの視聴環境は多様化し、利用の可能性が広がってきていることがわかった。「障害者差別解消法」の施行や社会的な理解が深まったことによる後押しもあるだろう。しかしながら、サービスが増えるなかで、情報収集や検索の段階で、操作が難しいサービスがまだ存在する現状も確認できた。映画では音声ガイドのデータを共有する仕組みが浸透していないことやコストと権利の問題もある。

一方で映画産業よりも音声ガイドや字幕の普及において一歩進んでいるといえる放送業界の見逃し番組配信アプリでは、すでにあるはずの字幕、音声ガイドデータが活用されていない現状があった。民放系のアプリでは音声ガイドも字幕も現状では取り組みがなされていない。音声ガイドデータや字幕データの共有に放送業界はどのようなコスト的、技術的問題があるのか。この点は今後の調査で明らかにしたいと考える。

参考文献

図1 厚生労働省, 「平成28年生活のしづらさなどに関する調査 (全国在宅障害児・者等実態調査)」, https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/seikatsu_chousa_h28.html, (2019.3.1 最終確認).

図2 内閣府, 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 (障害者差別解消法)」, https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/law_h25-65.html (2019.3.1 最終確認).

図3 Palabra株式会社, 「UDCastとは スマホとメガネ型端末でアクセスするバリアフリー映画の新システム」, <http://udcast.net/about/> (2019.3.1 最終確認).

図4 Palabra株式会社, 「UDCast対応一覧」, <http://udcast.net/works/> (2019.3.1 最終確認).

アクセシビリティの観点からみた映画コンテンツの視聴環境

図5 新通コム (2016), 「映画上映に関するバリアフリー対応に向けた障害者の視聴環境の在り方に関する調査事業報告書 (平成27年度コンテンツ産業強化対策支援事業)」 (http://www.meti.go.jp/meti_lib/report/2016fy/000144.pdf) (2019.3.1 最終確認).

図6 「CINEMA Chupki TABATA (シネマ・チュプキ・タバタ)」, (<http://chupki.jp>) (2019.3.1 最終確認).

図7 バリアフリー映画鑑賞推進団体シティ・ライツ, 「シティ・ライツのホームページです。」, (<http://www.citylights01.org/>) (2019.3.1 最終確認).

図8 “バリアフリーDVD&Blu-ray 情報”. 特定非営利活動法人メディア・アクセス・サポートセンター. (<http://mpo-masc.org/db/>) (2019.6.23 最終確認).

図9 小松幸男, 益子大輝, 植村八潮, 野口 武悟 (2018), 「音声ガイド付き DVD のアクセシビリティ: 操作インタフェースの検討を中心に」, 専修大学情報科学研究所所報 92, 1-6.

図10 日本映像ソフト協会 (2017), 「映像ソフト市場規模及びユーザー動向調査 2017」 (http://jvanet.or.jp/report/annual_2018_5-16.pdf) (2019.3.1 最終確認).

図11 渡辺哲也 (2017), 「視覚障害者の意思疎通支援サービス, 及び ICT 機器利用状況の地域間差の分析」, (<https://www.niph.go.jp/journal/data/66-5/201766050008.pdf>) (2019.3.1 最終確認).

図12 Netflix 株式会社, 「Netflix (ネットフリックス) 日本- 大好きな映画やドラマを楽しもう!」, (<https://www.netflix.com/jp/>) (2019.3.1 最終確認).

図13 HJ ホールディングス株式会社, 「hulu ヘルプセンター Hulu で字幕ガイドはどのように表示できますか?」 (https://help.happyon.jp/faq/show/7827?site_domain=jp) (2019.3.1 最終確認).

図14 Apple Inc. 「iTunes Store の映画やテレビ番組の字幕や音声言語を変更する」 (<https://support.apple.com/ja-jp/HT202641>) (2019.3.1 最終確認).

図15 株式会社バンダイナムコライツマーケティング, 「バンダイチャンネル」, (<https://www.b-ch.com/>) (2019.3.1 最終確認).

図16 日本放送協会, 「NHK オンデマンド」, (<https://www.nhk-ondemand.jp/>) (2019.3.1 最終確認).

【付記】本研究は、平成30年度専修大学情報科学研究共同研究「映画ソフトにおけるアクセシビリティに関する予備的調査：音声ガイド付き DVD/BD の視覚障害者利用と操作メニュー等の検討」の成果の一部である。

【付表】音声ガイド付き DVD の追加再生調査対象

作品名	発売日
君の脚藏をたべたい	2018/1/17
忍びの国	2018/2/2
関ヶ原	2018/2/7
関ヶ原	2018/2/7
パワーレンジャー	2018/2/7
ブランカとギター弾き	2018/3/2

奥田民生になりたいボーイと出会う男すべて狂わせるガール	2018/3/7
三度目の殺人	2018/3/7
散歩する侵略者	2018/3/7
パーフェクト・レボリューション	2018/3/7
メアリと魔女の花	2018/3/20
ジョジョの奇妙な冒険 ダイヤモンドは砕けない 第一章	2018/3/23
ナミヤ雑貨店の奇蹟	2018/3/23
打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？	2018/4/18
巫人	2018/4/18
彼女がその名を知らない鳥たち	2018/4/25
おんな城主直虎 総集編	2018/4/27
ミックス。	2018/5/2
ナラタージュ	2018/5/9
ラストレシピ〜麒麟の舌の記憶〜	2018/5/30
DESTINY 鎌倉ものがたり	2018/6/6
火花	2018/6/13
8年越しの花嫁 奇跡の実話	2018/7/4
映画 妖怪ウォッチ シャドウサイド 鬼王の復活	2018/7/4
未成年だけどコドモじゃない	2018/7/4
嘘を愛する女	2018/7/18
去年の冬、君と別れ	2018/7/18
映画ドラえもん のび太の宝島	2018/8/1
祈りの幕が下りる時	2018/8/2
今夜、ロマンス劇場で	2018/8/17
空海-KU-KAI-美しき王妃の謎	2018/9/5
ママレード・ボーイ	2018/9/12
曇天に笑う	2018/9/12
坂道のアポロン	2018/9/19
友罪	2018/10/2
ちはやふる 一結び	2018/10/3
名探偵コナン ゼロの執行人	2018/10/3
蝶の眠り	2018/10/17
いぬやしき	2018/11/2
孤狼の血	2018/11/2
ミッドナイト・バス	2018/11/2
となりの怪物くん	2018/11/3
のみとり侍	2018/11/7
妻よ薔薇のように 家族はつらいよ III	2018/11/7
映画クレヨンしんちゃん 爆盛！カンフーボーイズ〜拉麺大乱〜	2018/11/9
ラブラスの魔女	2018/11/14
恋は雨上がりのように	2018/11/21
BLEACH	2018/12/5
カメラを止めるな！	2018/12/5

海を駆ける	2018/12/5
虹色デイズ	2018/12/5
焼肉ドラゴン	2018/12/7
銀魂2 掟は破るためにこそある	2018/12/18
劇場版ポケットモンスター みんなの物語	2018/12/19
羊と鋼の森	2018/12/19
OVERDRIVE	2018/12/19
空飛ぶタイヤ	2019/1/9
青夏 きみに恋した30日	2019/1/11
センセイ君主	2019/1/30
私の人生なのに	2019/2/6
僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ～2 人の英雄～	2019/2/6
3D彼女リアルガール	2019/2/13
検察側の罪人	2019/2/20
響-HIBIKI-	2019/3/6
寝ても覚めても	2019/3/6
モンスターストライク THE MOVIE ソラノ カナタ	2019/3/6
コーヒーが冷めないうちに	2019/3/8
劇場版コード・ブルー-ドクターヘリ緊急 救命-	2019/3/20
宇宙の法—黎明編—	2019/3/20
劇場版『若おかみは小学生!』	2019/3/29
パーフェクトワールド君といる奇跡	2019/4/3
万引き家族	2019/4/3
散り椿	2019/4/10
スマホを落とすだけなのに	2019/4/16
累-かさね-	2019/4/17
ビブリア古書堂の事件手帖	2019/4/24
旅猫レポート	2019/4/24
人魚の眠る家	2019/5/2
春待つ僕ら	2019/5/10
体操しようよ	2019/5/10
SUNNY強い気持ち・強い愛	2019/5/22
億男	2019/5/22
日日是好日	2019/6/4
ニセコイ	2019/6/5